

【地域医療構想調整会議用】病院整備計画の概要書

1 医療機関の名称・所在地・所在二次保健医療圏

医療法人財団 明理会 新越谷病院・埼玉県越谷市元柳田町6-45・東部医療圏

2 開設者の名称・所在地

医療法人財団 明理会 理事長 中村 哲也 ・ 東京都板橋区本町36-3

3 医療機関の現状

病床数

病床機能区分	病床種別	許可病床数	稼働病床数	非稼働病床数
療養病床	療養	47	47	0
障害者病床	一般	91	91	0
回復期病床	療養	50	50	0
計		188	188	0

病床利用率（平均）

一般病床	療養病床	地域包括ケア 病床	回復期リハビリ テーション病床
100.91%	99.89%		97.99%

4 開設等の目的、整備方針、必要性

対象医療圏の将来人口を予測し、今後少子高齢化に伴う減少が予測され、2040年には現在の89.6%まで減少するものと思われま。高齢者人口の割合は23.8%(埼玉県24.8%。全国26.6%)と若干若めですが、2040年には34.4%と約3人に1人が高齢者となることが想定されま。特に入院受療率が高くなる後期高齢者は8.3万人から13万人へと増加することが予測されま。以上を鑑みますと、当院が担うべき役割としましては、当医療圏の高度急性期医療機関・急性期医療機関が高度医療・急性期医療に専念・特化できる体制構築、即ちポストアキュート機能を充実することで東部医療圏(越谷市、春日部市、松伏町)の地域住民の方々へ安心・安全な医療を提供できるものと考えま。当院では現在ベッド稼働99%(病棟によっては100%以上)と高稼働な状況が継続しており、本来ではポストアキュート機能の医療提供が必要な患者様に対しましても、十分な医療提供ができていない状況でありま。住み慣れた地域で住民の方々が安心して高度急性期医療を受けられ、その後継続した医療・看護・介護を受けられる地域包括ケアシステムの構築を推進して行く為には、増床が必要と考えま。

特に獨協医科大学埼玉医療センターとの医療連携におきましては脳神経外科・脳神経内科・循環器内科・呼吸器内科・消化器内科・整形外科・皮膚科・リハビリテーション科の8医局に渡っており。患者様の後方病院としての役割や医師の人的支援等を頂き密な関係を構築しておりま。



5 開設等の計画の具体的内容

(1) 整備する病床の機能・数 整備計画病床 128 床

病床機能区分*1	医療機能*2	病床種別	入院基本料 特定入院料	病床数
回復期	回復期機能	一般	回復期リハビリテーション病棟 入院料 1	70 床
回復期	回復期機能	一般	地域包括ケア病棟入院料 2	45 床
慢性期	療養機能	療養	療養病棟入院料 1	13 床
計	—	—	—	128 床

*1 高度急性期、急性期、回復期、慢性期のいずれかの病床機能を記載

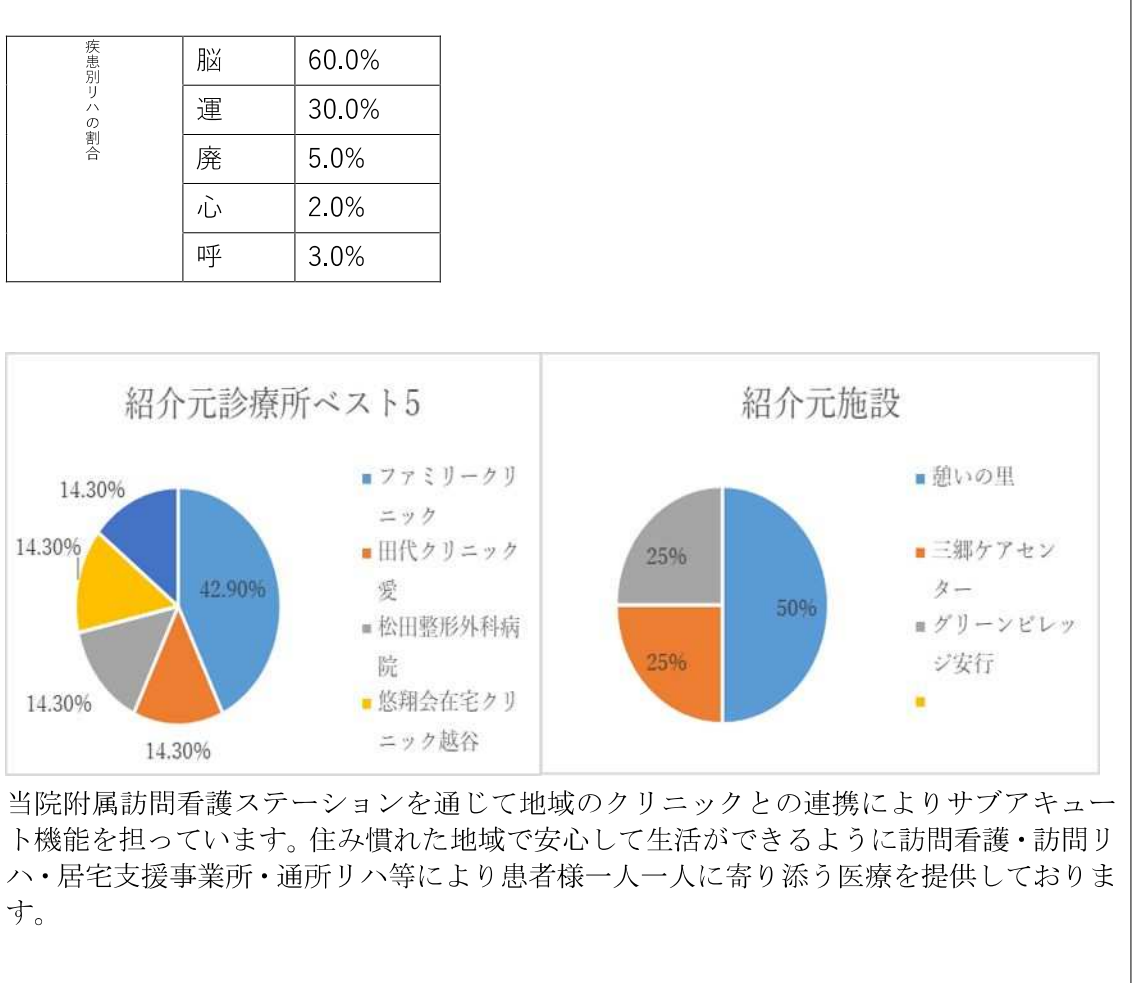
*2 がん医療、脳卒中医療、心血管疾患医療、救急医療、周産期医療、在宅医療など整備する病床が担う医療機能を記載

(2) 整備する病床数の根拠

①病床数の考え方

回復期病棟 **【313 名×76.6 日÷365 日=65.6 床】**
 障害者病棟 **【302 名×235.6 日÷365 日=195.1 床】**
 療養病棟 **【13 名×774.8 日÷365 日=27.5 床】**

東部医療圏内での獨協医科大学埼玉医療センターや越谷市立病院の後方病院としての役割を果たす為には、高度急性期医療のポストアキュート機能の強化として、回復期病棟 70 床増床、またサブアキュート機能を強化するうえで包括ケア病棟 45 床と療養病棟 13 床が必要と考えます。回復期病棟におきましては下記疾患割合を予定しております。



②-1 増床する病棟の概要

病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
2F 病棟	45 床 (新規増床)	回復期		
	一般	入院基本料・特定入院料	地域包括ケア病棟入院料 2	
3F 病棟	60 床 (10 床増)	回復期		
	療養	入院基本料・特定入院料	回復期リハビリテーション病棟入院料 1	
4F 病棟	60 床 (新規増床)	回復期		
	一般	入院基本料・特定入院料	回復期リハビリテーション病棟入院料 1	
5F 病棟	46 床 (既存病床)	慢性期		
	一般	入院基本料・特定入院料	障害者施設等入院基本料 10 : 1	
病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率

病院整備計画申出者（医療法人財団 明理会）

6F 病棟	45 床 (既存病床)	慢性期		
	一般	入院基本料・特定入院料	障害者施設等入院基本料 10 : 1	
病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
7F 病棟	60 床 (増床 13 床)	療養		
	療養	入院基本料・特定入院料	療養病棟入院料 1	
診療科 内科・消化器内科・呼吸器内科・整形外科・循環器内科・神経内科・脳神経外科・ 消化器外科・皮膚科・リハビリテーション科・腎臓内科				
患者の受入見込み (※名称、数値（人数、病床数に占める割合）について具体的に記入してください。)				
【増床前】		【増床後】		
<<回復期病棟>> ・獨協医科大学埼玉医療センターから年間 77 人 (38%) ・越谷市立病院から年間 43 人 (21%) ・草加市立病院から年間 14 人 (7%) ・秀和総合病院から年間 14 人 (7%) ・東埼玉総合病院から年間 7 人 (3%) <<療養・障害者病棟>> ・獨協医科大学埼玉医療センターから年間 19 人 (47.5%) ・越谷市立病院から年間 7 人 (17.5%) ・秀和総合病院から年間 3 人 (7.5%) ・三郷中央総合病院から年間 2 人 (5%) ・八潮中央総合病院から年間 2 人 (5%) ・ファミリークリニックから年間 3 人 (7.5%) ・田代クリニック愛から年間 1 人 (2.5%) ・松田整形外科病院から年間 1 人 (2.5%) ・悠翔会在宅クリニック越谷から年間 1 人 (2.5%) ・岡野クリニックから年間 1 人 (2.5%)		<<回復期病棟>> ・獨協医科大学埼玉医療センターから年間 247 人 (50%) 内訳 脳神経外科・神経内科 148 人 整形外科 74 人 呼吸器内科 12 人 循環器内科 5 人 リハビリ科 7 人 ・越谷市立病院から年間 103 人 (21%) ・草加市立病院から年間 34 人 (7%) ・秀和総合病院から年間 34 人 (7%) ・東埼玉総合病院から年間 15 人 (3%) ・IMS グループ病院 (春日部中央総合病院・三愛会総合病院) から年間 60 人 (12%) <<包括ケア・療養・障害者病棟>> ・獨協医科大学埼玉医療センターから年間 50 人 ・越谷市立病院から年間 10 人 ・秀和総合病院から年間 5 人 ・三郷中央総合病院から年間 3 人 ・八潮中央総合病院から年間 3 人 ・ファミリークリニックから年間 12 人 ・田代クリニック愛から年間 12 人 ・松田整形外科病院から年間 12 人 ・悠翔会在宅クリニック越谷から年間 12 人 ・岡野クリニックから年間 12 人 ・越谷ロイヤル訪問看護ステーションから年間 24 人 ・新越谷病院居宅支援事業所から年間 12 人		

病院整備計画申出者（医療法人財団 明理会）

	<ul style="list-style-type: none"> ・介護施設から年間 12 人 ・地域ケアマネから年間 50 人 ・自施設からの入院患者 年間 50 人 <p>上記の施設等より年間約 280 件の入院を見込んでいます。移転後は手術室増設予定の為、小手術（虫垂炎・ヘルニア等）対応部屋として包括ケア病棟を有効活用する予定です。</p>
<p>医療（介護）連携見込み （※具体的に記入してください。）</p>	
<p>【増床前】</p> <p>○紹介元 獨協医科大学埼玉医療センター・越谷市立病院・草加市立病院・秀和総合病院・春日部中央総合病院・春日部市立医療センター・川口市立医療センター・東埼玉総合病院・三郷中央総合病院・八潮中央総合病院・ファミリークリニック越谷・悠翔会在宅クリニック・さいたま市立病院・越谷誠和病院</p> <p>○紹介先 草加ロイヤルケアセンター・悠翔会在宅クリニック・新越谷病院在宅支援事業所・越谷ロイヤル訪問看護ステーション・とまりや・憩いの里・悠翔会在宅クリニック春日部・ハートフルクリニック・大沢医院・あまり歯科医院・南越谷地区包括支援センター・SOMPO ケア・特養みちみち・特養えくぼ・春日部ロイヤルケアセンター・エスポワールさいたま・エスポワール越谷・葵の園越谷・葵の園越谷レイクタウン・高瀬クリニックなど</p> <p>【高度急性期医療・急性期医療を必要とする場合】獨協医科大学埼玉医療センター・越谷市立病院・草加市立病院・春日部中央総合病院・新松戸総合病院・三愛会総合病院等と連携</p>	<p>【増床後】</p> <p>○紹介元・紹介先ともに左記と同様</p>

②-2 既存病棟の概要

病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
2A 病棟	50 床	回復期	76.6 日	97.99%
	療養	入院基本料・特定入院料	回復期リハビリテーション病棟入院料 1	
病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
2B 病棟	44 床	慢性期	235.6 日	101.63%
	一般	入院基本料・特定入院料	障害者施設等入院基本料	10:1

病院整備計画申出者（医療法人財団 明理会）

病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
3A 病棟	47 床	慢性期	774.8 日	99.89%
	療養	入院基本料・特定入院料	療養病棟入院料 1	
病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
3B 病棟	47 床	慢性期	850.1 日	100.19%
	一般	入院基本料・特定入院料	障害者施設等入院基本料 10:1	

診療科

内科・消化器内科・呼吸器内科・整形外科・循環器内科・神経内科・脳神経外科・
消化器外科・皮膚科・リハビリテーション科

診療実績(2021 年度実績)

回復期病棟 50 床

○延べ入院患者数 16,811 名/年
(/月)

ベット稼働率	100.1%	
重症患者割合	47.7%	
重症回復率	40.0%	
在宅復帰率	72.7%	
平均在院日数	76.6 日	
実績指数	70.9	
疾患別リハの割合	脳	59.0%
	運	34.0%
	廃	7.2%
	心	0.0%
	呼	0.0%

病院全体 188 床

○延べ外来患者数 13,931 名/年

○延べ入院患者数 68,267 名/年

○延べ訪問看護患者数 7,868 名/年

○延べ訪問リハビリ患者数 2,749 名/年

○延べ通所リハビリ患者数 3,309 名/年

上記データから急性期病院の後方病院の役割と在宅への復帰・支援を積極的に行
ってきました。今後も更なる地域医療・看護・介護に取り組んでいきます。

③ 医療（介護）連携における課題・問題点と対応

○急性期医療機関：「出口」となる医療機関は充足されているか

・回復期病床・地域包括ケア病床の不足により住み慣れた地域での受け入れが滞っ
ている状況にあると感じています。地域包括ケアシステムの構築に推進し他の診療所・ケア
マネージャーとの連携を強化しても東部医療圏での患者受入れ(特に回復期・慢性期)の枠
がなければ患者への安全・安心した医療・看護・介護の提供は難しいと考えます。

--

(3) 計画敷地

	面積	取得予定時期	取得状況
取得済	9893.34m ²	/	<input checked="" type="checkbox"/> 所有・借地
仮契約済	m ²		所有・借地
取得予定	m ²		所有・借地
計	9893.34m ²		

(4) 計画建物

工事種別	<input checked="" type="checkbox"/> 新築・増築・改修・その他（ ）
概要	用途地域 第一種住宅地域／第二種住宅地域 防火関係 指定無し 高度地域 第二種高度地区(高さ制限 30m) 階数制限 8階建て以下 計画道路 S63/4/26(都市計画決定)/事業未決定 地区計画 指定無し 日影規制 4m/4h・2.5h 敷地面積 水路含現況全体 10283.25 m ² (3052 坪) 計画道路・2項3項道路拡幅による減有 建築面積 3835 延床面積 16915 m ² 容積率算定面積 14718 m ² 建ぺい率 42.7% < 60%(70%角地緩和) 容積率 163.6 < 200%

(5) 医療従事者（※確保予定の人員には、増員となる人数を記載してください。）

職種	現在の人員（人）			確保予定の人員（人）		
	常勤	非常勤		常勤	非常勤	
		実人数	常勤換算		実人数	常勤換算
医師	6	19	3.7	10		
看護師	101	17	9.8	50		
その他	129	53	30.3	122		
計	236	89	43.8	182		

確保状況・確保策、確保スケジュール

<p>【医師】</p> <p>令和5年3月よりリクルートを開始し3年掛けて予定人員の確保に努める。獨協医科大学埼玉医</p>

病院整備計画申出者（医療法人財団 明理会）

療センターの後方病院としての役割を確立する為、獨協医科大学埼玉医療センターの各医局への人材支援要請をはじめとして、医師紹介会社・IMSグループ内支援等により確保いたします。

【看護師】

IMSグループには附属看護学校が2校あり、毎年内部奨学金生の2名が配属されています。令和6・7・8年度は内部奨学金生の配属人数を10名へ増員してもらい、それ以外の不足につきましては、令和5年度からの業者主催の就職フォーラム等の参加で人員確保を進めます。毎年就職フォーラムや院内病院見学会より外部の就職者が10名程います。又、たまごナース事業の拡大で看護助手の確保や看護師養成を実施いたします。

【コ・メディカル】

IMSグループ本部人事部が中心にリクルート活動を行っていますが、独自の学校訪問による実習生確保や見学会を実施し必要人員の確保に努めます。令和7年度に重点的にリクルート強化を行い、開設時には支障がないような体制を作っておきます。

(5) スケジュール

No.	項目	計画年月	備考
1	開設（変更）許可（医療法）	令和8年3月	
2	建築（着工）	令和6年10月	
3	建築（竣工）	令和8年2月	
4	医療従事者の確保	令和7年4月	
5	使用許可（医療法）	令和8年2月	
6	開設（増床）	令和8年3月	